

2024年9月18日

株式会社Datachain

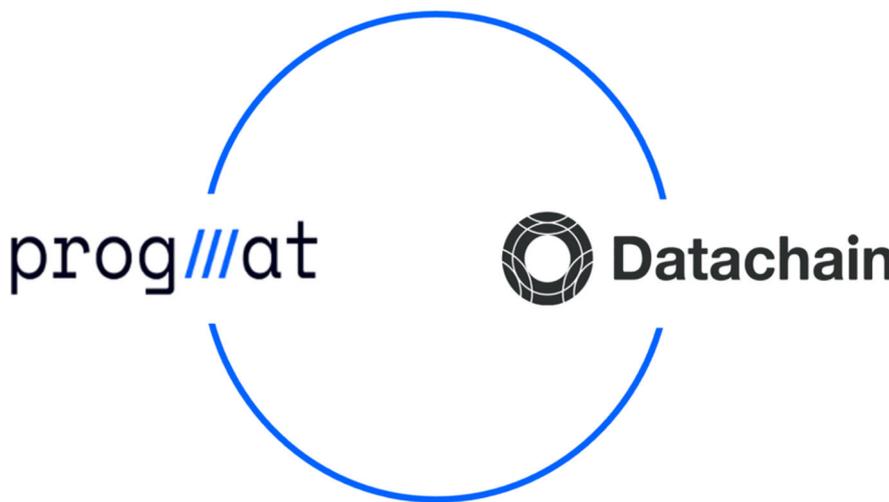
Progmatic, Inc.

ステーブルコイン決済プロダクトが実運用向け開発フェーズへ
クロスボーダー送金に加え、国内送金・個人間送金へも対応

株式会社Datachain(代表取締役:久田哲史、以下Datachain)およびProgmatic, Inc.(代表取締役:齊藤達哉、以下Progmatic)は、Progmaticが提供する「Progmatic Coin基盤」を用いて発行予定のステーブルコイン(以下SC)を活用した決済プロダクトが、実運用に向けた開発フェーズへ移行したことをお知らせいたします。

これまで、DatachainとProgmaticは、SC基盤の共同開発(*1)や、Swiftの既存APIフレームワークを用いたクロスボーダー送金基盤構築プロジェクト「Project Pax」(*2)等において、強固なパートナーとしてSC事業を共に推進してまいりました。

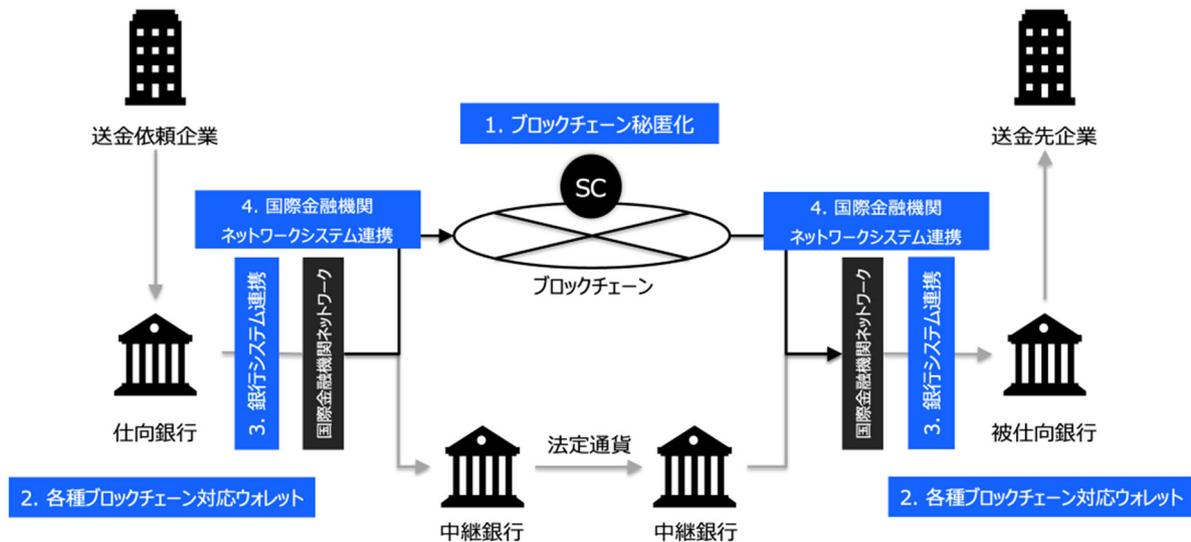
今回発表のSC決済プロダクト(以下、本プロダクト)では、クロスボーダー送金に加え、将来的には国内送金や個人間送金にも対応する方針です。Datachainのブロックチェーン技術を中心とした豊富な技術的知見と、Progmaticが提供する「Progmatic Coin基盤」発行のSCを組み合わせることで、より多様な需要に対する価値提供を目指してまいります。



1. SC決済プロダクトについて

本プロダクトでは、初期ユースケースとして、「Project Pax」におけるクロスボーダー送金に必要な機能の開発を進めています。技術検証やプロトタイプ開発を経て、2025年の商用化に向け、実運用を見据えた開発フェーズへと移行いたしました。

具体的な開発対象については、以下のとおりです。



開発対象	詳細
1. ブロックチェーン秘匿化	「Progrmat Coin基盤」が対応する複数のブロックチェーンのうち、国際送金等機密性が重要なユースケースに対応する場合における、ブロックチェーン上の履歴を不特定の第三者から秘匿化するための開発
2. 各種ブロックチェーン対応ウォレット	各種ブロックチェーンに対応するためのウォレット(SCを管理するためのアプリケーション)
3. 銀行システム連携	銀行システム及び上記ウォレット(2)と国際金融機関ネットワークとのシステム連携
4. Swift等の国際金融機関ネットワークとのシステム連携	銀行システムと国際金融機関ネットワーク、国際金融機関ネットワークとブロックチェーンを接続するためのシステム連携

これらの機能を実装し検証することで、AML/CFTや規制対応を含む、実務的な課題に対処したSCによるクロスボーダー送金を実現してまいります。さらに、国内送金や個人間送金への対応も速やかに進め、個人向けウォレットなど、追加で必要となる機能の設計および実装に取り組んでまいります。

2. ターゲット市場について

クロスボーダー送金市場は、2022年時点で182兆ドル(約27,300兆円)という膨大な市場規模を誇っています。この数字は取引金額の規模を示していますが、取引事業者の売上に限定した場合でも、2023年には1,836億ドル(約27兆円)と推定されており、依然として非常に大きな規模です。また、国際取引の増加に伴い、この市場は年平均成長率(CAGR)7.43%で拡大し続けています。

法定通貨の流通量に対して、SCの流通量は0.5%程度と推定されています。また、その多くは暗号資産やDeFi(分散型金融)などでの利用に留まっています。今後SCを活用した送金ソリューションが法人や個人などの実社会へと拡張することで、さらなる成長の可能性が期待されます。

クロスボーダーの個人間送金についても、グローバル化の進展と共に需要が増加しています。例えば、クロスボーダー送金新興Wiseの2024年3月期年次報告によれば、個人間のクロスボーダー送金額は872億ポンド(約16.6兆円)と大規模であり、前年同期比で14%の成長を記録しています。

Datachain、Progmaticでは、これらの膨大かつ成長著しい市場において、SC関連法への対応に加え、会計・税務の観点でも対応し、さらに現場のオペレーション等の顧客体験に即したプロダクトを提供することで、高速かつ安価という価値を提供してまいります。

※市場規模の算出において、1USDollar=150円、1ポンド=190円として算出しています。

*1 : <https://www.datachain.jp/ja/news/datachain-and-progmat-collaborate-on-stablecoin-business-completion-of-joint-development-of-contracts-for-standard-features-and-successful-transfers-in-testnet>

*2 : <https://www.datachain.jp/ja/news/progmat-and-datachain-launch-project-pax>

* 株式会社Datachainは、株式会社Speee(本社:東京都港区、代表取締役:大塚 英樹、東証スタンダード市場:4499)の子会社です。

* 本資料に記載されている会社名、商品名、サービス名は、各社の商標又は登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社Speee IR担当 : ir@speee.jp

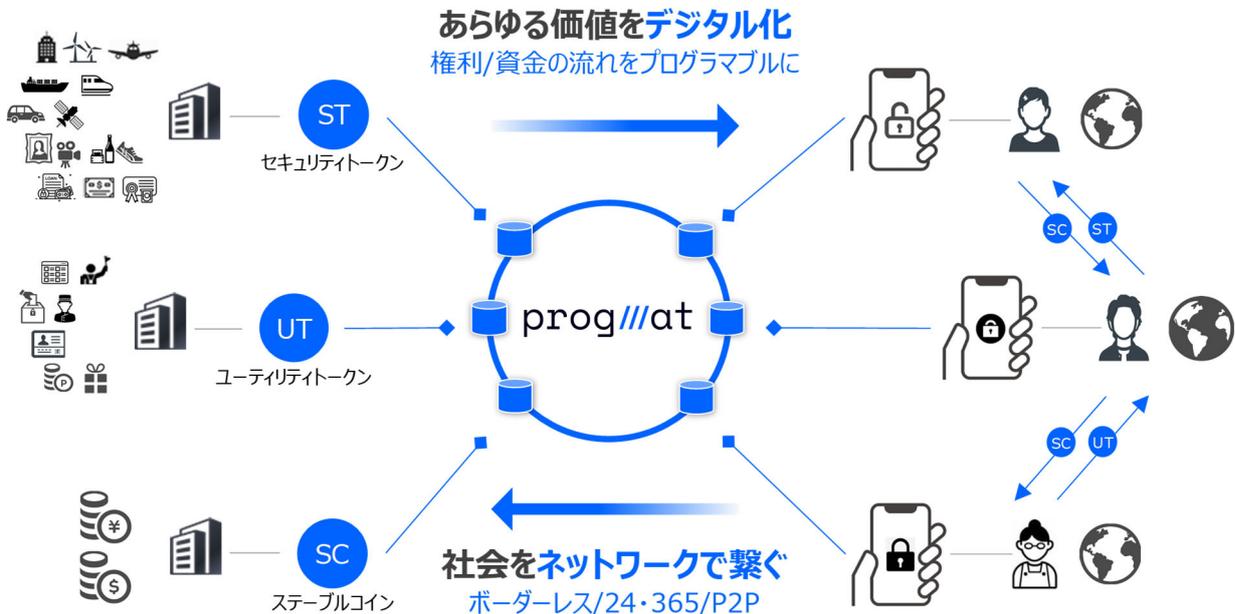
<別紙>

◆「Progmata (プログマ)」について

Webサイトおよび解説記事を公開しておりますので、以下URLからご覧ください。

Webサイト:<<https://progmata.co.jp/>>

解説記事:<https://note.com/tatsu_s123/n/n03a291fa52ab>



◆「Progmata Coin (プログマコイン)」基盤について

「Progmata Coin」基盤は様々なSCを発行・管理するためのインフラです。

資料を公開しておりますので、以下URLからご覧ください。

資料:<<https://speakerdeck.com/progmata/sc>>

解説記事:<https://note.com/tatsu_s123/n/n406e5cfa9f1c>

